






場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
1		公園に近い河原。 周囲には誰もいない。 やすおが熊男に追い詰められている。 周りには血まみれで倒れる取り巻き連中。	
2		熊男「グオオオオっ」 熊男がやすおに迫っていく。	
3		やすおが恐怖で震え上がっている。	
4		熊男「グオオオオっ」 熊男がまさかりを振り上げる。 やすお「うわあああっ」	
5		熊男がやすおにまさかりを叩き込む。 やすお「うぐっ」	

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
6		やすおが血まみれで倒れて悶える。 やすお「う、うううう……」	
7		熊男がやすおを踏みつける。 やすお「ぐえっ」	
8		熊男「おめえ、いじめっ子だろ？ 臭いで分かるぜ」 熊男の冷たい残忍な目。	
9		熊男「いじめっ子が痛めつけられようが死ん のうが誰も困らねえなあ」 やすおの苦悶の表情。	
10		熊男「簡単に殺しちゃつまらねえ。手足から ちよつとずつ解体してやるよ」 熊男がやすおにまさかりを突きつける。	




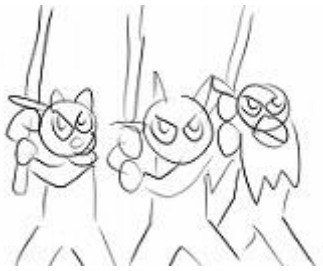

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
11		熊男「手からか？ 足からか？ 選べよ」 やすおが必死に首を横に振る。	
12		熊男「両方嫌か。なら首だ！ グオオオオっ」 熊男がまさかりを振り上げる。 やすお「うわあああっ」	
13		お凜様「うおおおっ！」 駆けつけてきたお凜様が拳銃を連射する。	
14		熊男「ぐおっ」 熊男が後ろに跳んで銃撃を避ける。	
15		お凜様が熊男の前に立ちはだかる。	


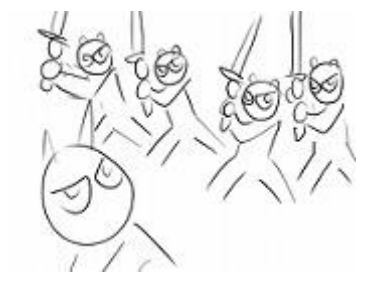



場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
16		たける、かな、きりお、子供達が、遠くの物陰からお凧様を見ている。	
17		熊男「なんだおめえ」 お凧様「武州総鎮守秩父鬼姫山三代目、花吹雪のお凧じゃ！」 熊男「あの鬼神童女か……」	
18		お凧様「邪悪な妖賊め、お天道さんの照らすもとで何やっとなるか。こんわしが成敗しちやるで！」	
19		熊男「狩りの邪魔をしやがって。この俺のまさかりに勝てる奴はいねえ。そんなちっこい体で剛腕に耐えられるもんか」	
20		お凧様「ならかかってこんかい！」 お凧様が抜刀する。	

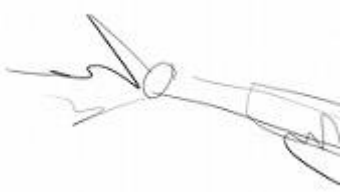


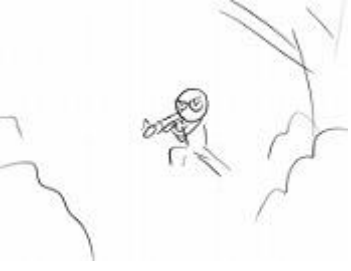

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
21		熊男「俺一人と思うなよ」 熊男の手下達がわらわらと出現して抜刀する。	
22		お凜様「わし一人と思うでない」 お凜様のもとに、山狗・遠吠えの牙吉と山鴉・夜鳴きの飛丸が飛び込んでくる。	
23		牙吉「遠吠えの牙吉参上！」 飛丸「夜鳴きの飛丸参上！」 牙吉と飛丸が抜刀する。	
24		お凜様「わしら鬼姫山三神の目が黒いうちは、妖賊風情に武州で好き勝手させんぞ」	
25		熊男「やっちまえ！」 手下達「うおおおおっ！」 手下達がお凜様達に斬りかかってくる。	


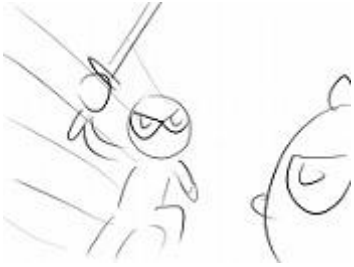
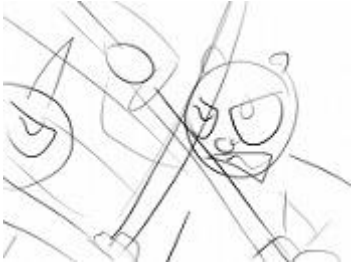
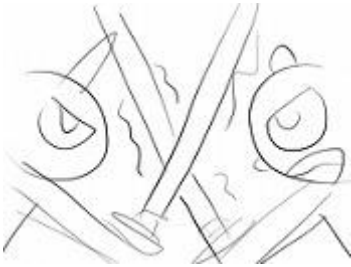

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
26		お凧様達が手下達を次々と斬り倒していく。	
27		手下達が次々と出現して斬りかかってくる。	
28		剣戟の中、熊男がまさかりを振り回してお凧様に襲いかかる。 熊男「グオオオオっ！」	
29		お凧様が身軽に跳ぶようにまさかりを避けていく。 熊男の猛攻を前に中々斬り込めないでいる。	
30		熊男「避けてばかりじゃねえか！ 受太刀したら折れちまうもんなあ！」 熊男がまさかりを振り上げる	

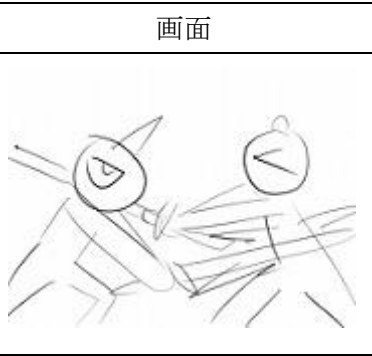
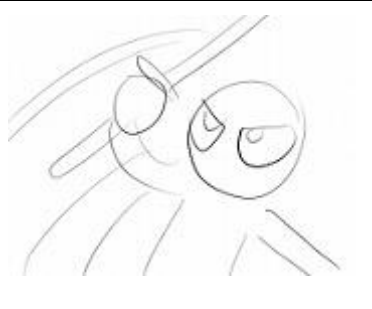
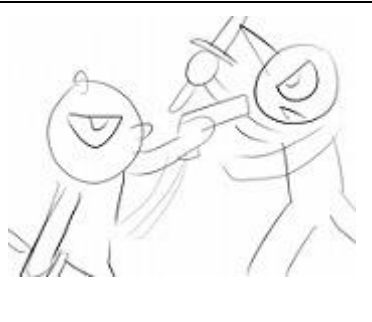

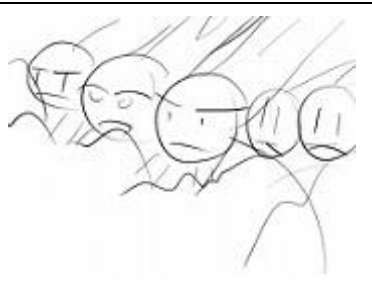
場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
31		どこからか銃撃。	
32		銃撃が熊男のまさかりを弾き飛ばす。 熊男「ぐおっ」	
33		お凜様「なんじゃ！」 お凜様が銃撃のあった方角を見る。	
34		遠くに、狙撃銃を持った上州鎮守達次郎が立っているのが見える。	
35		熊男「あいつ、確か上州で……」	

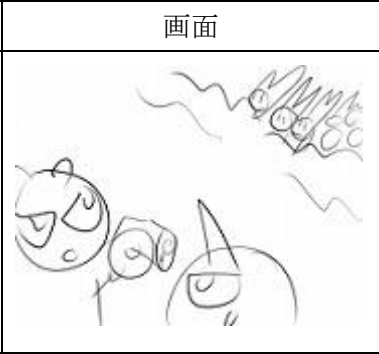
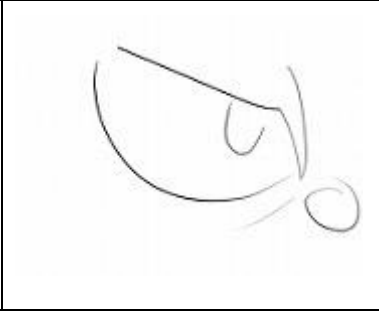

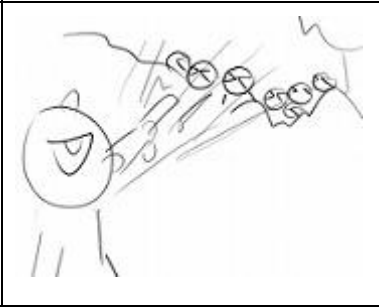

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
36		達次郎「早くそいつを！」	
37		お凜様「うおおおっ！」 お凜様が熊男に斬りかかっている。	
38		熊男「グオオオオっ！」 熊男が刀を抜いて受太刀する。	
39		お凜様と熊男の力比べ。 お凜様「うぬぬぬ……」 熊男「ぐぬぬぬ……」	
40		お凜様と熊男が一度後ろに跳んで間合いを取る。	



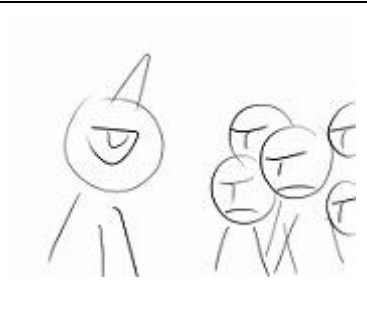
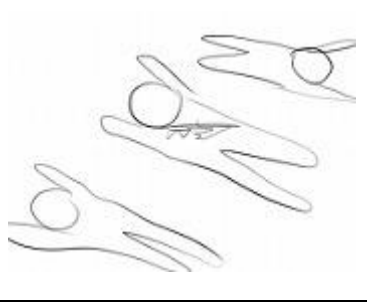

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
41		すぐさまほぼ同時に一撃を放つ。 熊男「うぐっ」 熊男がお凜様の一撃を食らう。	
42		お凜様「とどめじゃ！」 お凜様が熊男に斬りかかろうとする。	
43		熊男が拳銃を抜いてお凜様の額に突きつける。 お凜様「うっ」 お凜様が静止する。	
44		熊男「動くんじゃねえぞ」 お凜様「卑怯な！」	
45		たける達が息を飲む。	



場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
46		熊男が陰に潜むたける達に気付く。	
47		熊男「鬼神童女め、この決着は必ずつけてやる。一度狙った獲物は仕留めるまで諦めねえぜ。楽しみに待っていやがれ！」	
48		熊男が、お凜様に銃口を向けながら後退していく。	
49		熊男「おめえらも獲物だぞ！」 熊男がたける達に向けて拳銃を乱射する。 たける「うわああっ」 かんな「きゃああっ」 たける達の悲鳴。	
50		お凜様「やめろっ！」	






場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
51		熊男「ざまあ見やがれ！」 まさかりを拾って、逃げ去っていく。	
52		物陰にいた、たける、かんな、きりお、子供達が駆けつけてくる。 たける「お凜様！」 かんな「お凜様！」 きりお「お凜様！」 お凜様「来るなと言うたじゃろう！」	
53		お凜様「みんな、大事ないか？」 たける「うん！」	
54		たける「うっ……」 かんな「いやあ……」 たける達が血まみれのやすおと取り巻き連中の悲惨さに、絶句する。	
55		お凜様「じゃけえ、来るなと言うたんじゃ」	





場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
56		たける「死んじゃうの？」 お凜様「まだ間に合う！」 たける「助けてあげて！」 お凜様「よし！」 お凜様が瓢箪水筒を手に取る。	
57		お凜様がやすおと取り巻き連中を靈泉酒で治癒していく。	
58		やすおと取り巻き連中の意識が戻る。 やすお「う～ん……」 やすおと取り巻き連中は、体に傷がないことに気付く。 やすお「確か、熊みたいな奴に……」 お凜様「わしが治した。もう大丈夫じゃ」	
59		やすお「あの……」 やすおと取り巻き連中が、涙ぐみながら、ひざまずいてお凜様を見る。 やすお「助けてくれてありがとう……」	
60		お凜様「見捨てようと思えばできた。じゃが、まだ改心の余地はあると見た。あと、礼を言うんはわしじゃない」	

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
61		お凜様「お前達を助ける言うたのは、たける君じゃ！」 お凜様がたけるを指差す。	
62		やすおと取り巻き連中は泣きながら頭を下げる。 やすお「もういじめはやりません。約束します……」 お凜様「本心じゃな？」 やすお「はい……」	
63		たける「お前達がやってきたことを忘れることはないし、許す気もない。けど、水に流してやる」 たけるの厳しい表情。	
64		お凜様「熊男は再びお前達を狙うじゃろう。たける君達を巻き込んでな。あやつを倒すまではわしの守護下におれば安全を保証する。仲直りするかどうかは、たける君達の気持ち次第じゃ」 やすお「はい……」	
65		近くに控えていた上州鎮守達次郎がお凜様に歩み寄る。 達次郎「武州総鎮守、花吹雪のお凜さんとお見受けします」 お凜様「はい」 牙吉と飛丸がお凜様の脇で控える。	

場面：熊男襲撃

番号	画面	内容・台詞	時間
66		達次郎「場所柄、神儀略させていただきます。 手前、上州甘楽地方鎮守、空っ風の達次郎と申します」 お凜様「ご加勢ありがとうございました」 お凜様がお辞儀する。	
67		達次郎「訳あって熊男を追って武州までやって参りました。これは上州の問題でございます。後はお任せ下さい」	
68		お凜様「訳は存じませんが、熊男が武州の民を傷つけた以上、武州の問題です。お任せ下さい」	
69		達次郎「では上州と武州で」 お凜様「ご一緒しましょう」 お凜様と達次郎が手を結ぶ。	
70			